

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会 無所属会派所属議員

<編集発行>

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361(fax 兼用)
市議会議員 吉田つとむ
yoshidaben@gmail.com



委員都市計画税の税率が下がりず 0.27

第4定例会の特徴的な議案と請願の会派対応

第4定例会最終日に、都市計画税の引き下げ議案(0.24%)で賛成討論を行いました。

今期も多数の住民請願が学校再配置計画、工芸美術館建設を巡って提出されました。石坂市長はそれを推進する立場ですが、無所属会派は、それに対して、慎重に、あるいは反対の立場を取っています。会派では、松岡みゆき議員(幹事長)と吉田つとむ議員が事案を分けて紹介議員となり、新井議員が本会議場での議案には反対討論、請願には賛成討論を行いました。

都市計画税の税率はそれぞれの地方自治体で税率を決める(0.3%以下)ことができ、町田市は20年来、0.24%に引き下げていましたが、3年前に0.27%にアップしていました。吉田は、会派の松岡議員と新井議員、さらに諸派の秋田しずか議員が3名で提出した都市計画税を今期の税率より0.24%に引き下げる議案に賛成討論、その他の会派が合同して出した元より値上げした税率(0.27%)の議案に反対討論を行いました。時代は国政も地方自治体も減税をトレンドにしています。そうした中で、地方自治をくみ上げていくべきだと考える次第です。今回は多数派になれずに残念です。



学校給食無償化と地域における内容の差

東京都内の小中学では大半の自治体で学校給食費の無償化を実施するか、もしくは無償化を決定しているために、この問題に関して議会は会派を超えて、町田市に対して無償化を求めてきました。

しかし町田市は「無償化は国が決める」とこととして、頑として、無償化を回避してきました。この度、東京都の支援枠が増大することで、ようやく町田市長と教育委員会も都内で最終グループとして無償化することとしたものです。



小学校の給食室から給食を運ぶ食缶

実施に当たっては、町田市の小学校は自校方式で学校給食を実施していますが、中学校は給食センター方式で全員給食をするための準備を進めている段階です。現在は外部の委託業者にランチボックス形式の弁当を選択予約する方式の給食(不人気)は、希望者が1割程度です。あとは自前の弁当持参を原則としています。

そこで、全員給食ができる体制ができるまでの間、現在のランチボックス方式注文を継続する間は、その弁当代が無料となります。また、自前の弁当持参の場合は給食食材費の実費がそれぞれに還元されることとなります。また、一部に中学校全員給食が実施されている地区ではそれが無償の扱いになります。町田市は中学校の全員給食の導入が最も遅いことで、その無償化が地域によって異なり、負担割合が不公平で、かつ複雑な体制で学校給食無償化が混乱した中で進むこととなります。

◎水耕栽培メロン 世界一決定戦を開催しよう！

○支持政党なしの方々の代表＝吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、第
55期生を募集予定

住民請願：工芸美術館建設の見直し要求

第4定例会では、町田市立国際工芸美術館建設に関して、その見込み額が大幅に引きあがっていることに対し、その是正を求める請願が2本提出されました。その額はこの間の一般工事費の上昇率を大幅に上回り、総額45億以上となる点をとらえ、2本の請願では場所の移動(崖から平場に)を求めるものですが、景観上も斜面の樹木の伐採を前提にしており、あるいは大量の土砂運搬(10tトラック1500台分)を想定しており、時代的ではないというものと理解しています。

請願では、今回の計画が、現在の国際版画美術館に一部(特徴ある版画工房、アトリエ、障がい者雇用の喫茶けやきの存在)を移転、建物の改修を求める点にも疑問を持っていました。さらに、片方の請願では、「この工芸美術館を作っても、展示物に魅力もなく、ランニングコストは嵩み、そう遠くない未来において、町田市の負のレガシーとなることは容易に予感されます」と指摘していますが、まさにこの点は、吉田つとむ(伝統工芸品の人形業界で会社が閉業するまでの10年以上就業経験)が一貫して指摘している問題点です。残念ながら、町田市の施設建設手法は、芸術に適合するやり方ではなく、負のレガシーのみを残すやり方と言えましょう。

町田市が多数収蔵する鼻煙壺は、美術的価値は極めて低いと判断している。



四条畷市電子投票選挙視察結果総括報告

8年ぶりの電子投票選挙となった四条畷市の市長市議補選は12月22日に投開票が行われ、どちらも新人候補2人が立候補した選挙でしたが、いずれも接戦でした。今回の電子投票選挙では、パネルの候補名を選ぶ方法によって、候補者以外の氏名を書いたもの、あるいは候補者名以外の文字を書いたもの、及び氏名が読み取れない投票を無くすことに主眼があり、その目的は達成されたと言えましょう。*なお、電子投票選挙でも「白票」に相当する選択方法があり、選挙上の問題はありません。また、電子投票機の投票記録データは投票機1機ごとに、(シャッフルされて)USBメモリー1個に記録され、副本はSDカードにも保存されるシステムになっており、万が一の棄損にも対応していました。



なお、その電子投票選挙の開票に関して、その視察見学した人、あるいは多数のメディアは、「電子投票」＝「選挙結果が秒単位で出る＝速報性を期待」していましたが、通常選挙と同じような時間を要していました。選挙管理委員会はその開票に関して、丁寧に、慎重にあり過ぎ、見学者の気を削いでしまいました。他の自治体の者がクレームをつける理由はなく、次回の電子投票選挙の実施自治体がこれを改善するチャンスだと思いました。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2024年9月末までに110名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎次回のインターンシップは、2025年春季募集で2024年11月より広報開始しています。